

施策目標 2

男女平等を進める教育・学習体系の確立

□ 施策の方向

- 1 学校での男女平等の教育の推進
- 2 家庭での男女平等の学習の促進
- 3 地域での男女平等の学習の促進
- 4 学習活動を支援する人材の育成と活用

朝霞市男女平等推進条例

第3条第2項 男女平等の推進に当たっては、性別による固定的な役割分業意識を解消し、家庭、職場、学校、地域その他の社会のあらゆる分野において男女が個人として能力を発揮できる機会が確保され、多様な生き方ができ、自己の責任に基づく自己決定権が確立されなければならない。

1 学校での男女平等の教育の推進

現状と課題

「朝霞市男女平等推進条例」（第7条第1項）では、「教育における責務」として、「学校教育その他教育に携わる者は、教育を行うに当たっては、基本理念に配慮しなければならない。」と規定しています。

これまで、市内の小・中学校では、総合的な学習の時間や各教科、進路講演会、特別活動などの機会を通じて男女平等の教育に取り組んできました。

学校教育は男女平等の意識を育てる重要な場であることから、今後は、男女が平等な教育環境づくりだけでなく、社会に根強く残る男女格差を解消できる意識や能力を養う教育が必要です。発達段階に応じた男女平等の教育プログラムのさらなる充実を努め、男女平等について考え、自ら取り組めるようさらに一歩進んだ取り組みが課題です。

主要な施策

◆男女平等の教育の推進

施策の内容	担当課	区分	実施時期	
			前期	後期
男女平等、相互理解・協力などについての指導、性別にかかわらず多様な生き方を可能にする進路指導など、男女平等の教育を推進します。	教育指導課	充実	○	継続

◆男女平等の教育プログラムの充実（重点プロジェクト）

施策の内容	担当課	区分	実施時期	
			前期	後期
発達段階に応じて、男女平等や“個”の自立について具体的に考えたり、実感できる教育プログラムのさらなる充実を努めます。	人権庶務課 教育指導課 生涯学習課	充実 重点P	○	継続

◆男女平等の教育環境づくり

施策の内容	担当課	区分	実施時期	
			前期	後期
教育相談の充実、管理職、教職員等に対する研修の実施など、男女が平等な教育環境づくりを推進します。	教育管理課 教育指導課	充実	○	継続

2 家庭での男女平等の学習の促進

現状と課題

男女が平等な関係は家庭を営む上で大切なことであり、子どもの男女平等意識の醸成にも大きな影響を与えます。

「市民意識調査」によると、子どもの性別で育て方を区別することを肯定する割合は6割を超えています。また、“女の子に望む人間像”は「思いやりや気配りがある人」「家庭・家族を大切にする人」に偏っているのに比べて、“男の子に望む人間像”は多様になっているなど、性別による固定的な役割分業意識が家庭で今も根強いことが現れています。

「朝霞市男女平等推進条例」（第7条第2項）に「何人も、子どもの教育に当たっては、家庭、学校及び地域において、男女が共に積極的に参画するよう努めなければならない。」と規定しています。

男女がともに自立した人間としてお互いに尊重しあう家庭を築くとともに、その暮らしを通して男女平等の教育・学習がなされるよう、男女平等の視点に立った生活の提案などの情報提供、学習機会の充実が課題です。

性別による子どもの育て方

項目名	構 成 比			集 計 値		
	全体 N=864	女性 N=508	男性 N=348	全体	女性	男性
区別して育てる方がよい（肯定派）	7.4%	4.1%	11.2%	64	21	39
ある程度区別して育てる方がよい（肯定派）	52.7%	52.6%	53.7%	455	267	187
あまり区別しないで育てる方がよい（否定派）	21.5%	25.0%	16.7%	186	127	58
区別しないで育てる方がよい（否定派）	10.1%	9.6%	10.3%	87	49	36
わからない	3.6%	3.0%	4.6%	31	15	16
無回答	4.7%	5.7%	3.4%	41	29	12
全体	100.0%	100.0%	100.0%	864	508	348

資料：「朝霞市男女平等に関する市民意識調査」（平成22年6月実施）

女の子に望む人間像（1～3位）

項目名【3つまでの複数回答】	構 成 比			集 計 値		
	全体 N=864	女性 N=508	男性 N=348	全体	女性	男性
家庭・家族を大切にする人	66.4%	64.6%	69.8%	574	328	243
仕事に生きがいを感じる人	4.1%	4.3%	3.4%	35	22	12
仕事以外の生きがいを持っている人	10.0%	11.0%	8.0%	86	56	28
学歴が高い人	0.6%	0.6%	0.6%	5	3	2
幅広い知識や豊かな教養のある人	25.1%	28.0%	21.3%	217	142	74
社会の役に立つことをする人	10.8%	9.6%	12.6%	93	49	44
行動力がある人	6.5%	8.9%	3.2%	56	45	11
礼儀正しい人	47.0%	44.1%	50.9%	406	224	177
思いやりや気配りがある人	85.8%	86.2%	85.3%	741	438	297
能力や個性を発揮できる人	22.0%	23.8%	19.5%	190	121	68
無回答	6.8%	6.1%	7.8%	59	31	27
全体	100.0%	100.0%	100.0%	864	508	348

資料：「朝霞市男女平等に関する市民意識調査」（平成22年6月実施）

男の子に望む人間像（1～3位）

項目名【3つまでの複数回答】	構 成 比			集 計 値		
	全体 N=864	女性 N=508	男性 N=348	全体	女性	男性
家庭・家族を大切にする人	57.2%	59.6%	54.3%	494	303	189
仕事に生きがいを感じる人	14.6%	14.6%	14.7%	126	74	51
仕事以外の生きがいを持っている人	12.0%	12.6%	10.9%	104	64	38
学歴が高い人	1.7%	1.4%	2.0%	15	7	7
幅広い知識や豊かな教養のある人	32.2%	35.2%	27.6%	278	179	96
社会の役に立つことをする人	16.6%	14.4%	19.8%	143	73	69
行動力がある人	23.4%	25.4%	20.4%	202	129	71
礼儀正しい人	29.3%	25.2%	35.1%	253	128	122
思いやりや気配りがある人	64.2%	65.7%	62.6%	555	334	218
能力や個性を発揮できる人	28.4%	28.3%	28.2%	245	144	98
無回答	6.5%	5.7%	7.5%	56	29	26
全体	100.0%	100.0%	100.0%	864	508	348

資料：「朝霞市男女平等に関する市民意識調査」（平成22年6月実施）

主要な施策

◆男女が平等な家庭生活の情報提供（重点プロジェクト）

施 策 の 内 容	担当課	区分	実施時期	
			前期	後期
男女が平等な家庭生活の在り方について、家庭向け冊子等の発行など積極的な情報提供に努めます。	人権庶務課	充実 重点P	○	継続

◆家庭教育についての学習機会の提供（重点プロジェクト）

施 策 の 内 容	担当課	区分	実施時期	
			前期	後期
家庭教育学級による講演会の開催など、幅広い年齢層に家庭における教育についての学習機会の提供に努めます。	生涯学習課	充実 重点P	○	継続

◆子育て家庭における男性の家事・育児参画応援（重点プロジェクト）

施 策 の 内 容	担当課	区分	実施時期	
			前期	後期
男性の家事・育児講座、料理教室、親子（父子）講座等の開催など、男性が家事・育児に参画することを応援します。	健康づくり課 公民館	充実 重点P	○	継続

平成22年度調査 朝霞市男女平等に関する市民意識調査から
 ○ 1週間の活動時間（性別平均） (時間)

	平成22年度調査		平成20年度調査	
	女性	男性	女性	男性
1 趣味・交流	7.6	6.9	8.1	9.0
2 地域社会づくり	0.5	0.5	0.8	1.2
3 収入につながらない労働	30.0	6.1	23.4	11.8
4 収入を得るための労働	21.4	36.1	22.7	41.8

資料：「朝霞市男女平等に関する市民意識調査」（平成22年6月実施）

3 地域での男女平等の学習の促進

現状と課題

男女平等の学習機会の1つとして「あさか女と男^{ひと}セミナー」を開催しています。平成22年度は延べ127人の参加がありましたが、地域に依然として残る性別による固定的な役割分業意識を解消するために、もっと多くの学習機会が必要です。

また、「市民意識調査」によると、1年間のうちに「自治会や町内会の活動」へ参加した市民の割合は2割、「趣味やスポーツのグループ活動」へも約2割、「PTA や子ども会の活動」へは約1割の参加となっています。個々の活動をみても、すべての活動への参加が減少傾向にあり、「いずれの活動にも参加しなかった」が5割となっています。

今後は、地域活動やグループ・サークル活動などを地域における男女平等の学習機会として位置づけ、参加を促すとともに、地域活動団体に対して積極的に男女平等についての情報を提供し、活動の中で男女平等に配慮するよう呼びかけることが課題です。また、市民の需要に応じた「あさか女と男^{ひと}セミナー」などの講座テーマの設定、男女平等を推進する視点での生涯学習講座の充実、市民による自主的な男女平等学習の支援も課題です。

地域活動への参加

項目名【10個までの複数回答】	構成比			集計値		
	全体 N=864	女性 N=508	男性 N=348	全体	女性	男性
自治会や町内会の活動	20.6%	21.9%	19.0%	178	111	66
PTA や子ども会の活動	10.2%	15.2%	3.2%	88	77	11
老人会等の団体活動	1.2%	1.2%	0.9%	10	6	3
趣味やスポーツのグループ活動	17.2%	18.5%	15.5%	149	94	54
福祉的なボランティア活動	3.6%	3.5%	3.4%	31	18	12
地域での講演会への出席	3.7%	5.3%	1.1%	32	27	4
グループで行う地域に関する研究や勉強会活動	2.3%	2.6%	1.7%	20	13	6
消費生活や環境保護にかかわる活動	1.2%	1.6%	0.3%	10	8	1
NPOなどの市民活動（※今回調査からの追加設問）	1.2%	0.8%	1.7%	10	4	6
その他	1.7%	2.0%	1.1%	15	10	4
いずれの活動にも参加しなかった	55.7%	51.4%	62.4%	481	261	217
無回答	1.7%	1.8%	1.1%	15	9	4
全体	100.0%	100.0%	100.0%	864	508	348

資料：「朝霞市男女平等に関する市民意識調査」（平成22年6月実施）

1 主要な施策

◆地域活動に男女平等の視点を提案

施策の内容	担当課	区分	実施時期	
			前期	後期
地域コミュニティ活動やグループ・サークル活動と絡めた男女平等の推進を図るために、積極的な情報提供に努めます。	人権庶務課 生涯学習課 公民館	充実	○	継続

◆男女平等に関する生涯学習の推進（重点プロジェクト）

施策の内容	担当課	区分	実施時期	
			前期	後期
男女平等推進関連講座の充実を図るとともに、市民による自主的な男女平等学習を支援します。	人権庶務課 生涯学習課 公民館	充実 重点P	○	継続

◆女性のリーダーシップ能力の向上促進

施策の内容	担当課	区分	実施時期	
			前期	後期
女性がリーダーシップを身につけられるよう学習機会の提供、活動の場の提供に努めます。	人権庶務課 生涯学習課 公民館	充実	○	継続

4 学習活動を支援する人材の育成と活用

現状と課題

「あさか女と男^{ひと}セミナー」の開催や男女平等推進情報紙「そよかぜ」等の発行に加えて、「日本女性会議」への市民派遣などを通じて、地域活動の中心的な担い手や、男女平等を推進する数多くの人材が育成されてきました。

個人のライフスタイル*やライフコースの多様化が進む中で、市民が抱える男女平等の課題も多岐にわたり、地域に存在する多様な課題に対応できる人材や組織の育成、活躍が一層期待されています。

今後は、広い視野をもった男女平等を推進する人材の育成を図るとともに、その人材を地域活動の中で有効に活用していく地域循環型の体制を構築することが課題です。

① 主要な施策

◆広い視野をもった人材の育成

施策の内容	担当課	区分	実施時期	
			前期	後期
広い視野をもった男女平等推進の人材育成のために、全国・全県レベルの経験交流・研修機会へ積極的に市民を派遣します。	人権庶務課	充実	○	継続

◆男女平等を推進するための学習支援

施策の内容	担当課	区分	実施時期	
			前期	後期
多様な課題に対応しながら、男女平等を進めていくための学習機会を提供するとともに、学習の側面支援を行います。	人権庶務課 生涯学習課 公民館	充実	○	継続

◆地域人材の活用促進

施策の内容	担当課	区分	実施時期	
			前期	後期
(仮称)男女平等推進人材データベースの作成、積極的に活動を行っている市民等への顕彰の実施など、地域人材の活用を促進します。	人権庶務課 生涯学習課 公民館	充実	○	継続

